



2018年3月26日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

津島市との『地方創生に関する包括協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社(社長:西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」)は、津島市が掲げる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における地方創生の取組みに貢献するため、津島市(市長:日比一昭)と包括協定を3月26日に締結しましたのでお知らせします。

1. 背景・経緯

・津島市は、「津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、若者・女性の転出抑制、子育て環境の充実、都市のイメージアップと交流人口の拡大等を図るため、地方創生に向けた様々な取組みを進めています。

・損保ジャパン日本興亜は、「県民・行政、NPOなどの地域の課題解決に向けた協働を通じ、持続可能な社会づくりに貢献すること」をCSR(企業の社会的責任)の重点課題のひとつに掲げており、市民サービスの向上と津島市の地域活性化に貢献するため、このたび津島市との包括的な連携協定の締結に至ったものです。

2. 協定の目的

津島市と損保ジャパン日本興亜は、幅広い分野で相互に緊密に連携・協力して、まち・ひと・しごと創生に資する取組みを実施することにより、地域の活力を高め、さらなる市の発展を図ります。

3. 協定の主な内容

- (1)若い世代の結婚・出産・子育てを応援すること。
- (2)津島市に住み続けながら働けるようにすること。
- (3)人の交流・活動を活発にし、都市イメージを改善すること。
- (4)時代に合った地域をつくり、健康で安心な暮らしを守ること。
- (5)その他まち・ひと・しごと創生に関すること。

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体と連携し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生することに貢献していきます。

以上